

平成24年度 特別推進研究 審査の所見

研究課題名	高エネルギーガンマ線による極限宇宙の研究
研究代表者	手嶋 政廣
審査の所見	<p>超高エネルギーガンマ線は宇宙線の起源に迫るフロンティアである。CTAは国際的な大型の計画で、稼働後は10年以上他の追従を許さない世界で唯一の観測装置となるだろう。応募者が当該計画に参画し、その重要な部分、すなわち大型(23m)望遠鏡製作を担当することは、我が国が超高エネルギーガンマ線分野で主導的な地位を確保し続けるために必須である。本研究のために、若手から中堅の研究者を結集し強力なチームを組織したことも評価できる。応募者らがMAGICチェレンコフ望遠鏡、Fermiガンマ線衛星を用いたこれまでの研究実績を踏まえ、更にその解析研究を続行することで次の研究戦略を明確にしてほしい。その戦略にそって、最初の1台を早期に製作し、それを用いて超高エネルギーガンマ線の発生源の同定とその強度、スペクトルの解明研究を系統的に進めることは、宇宙線起源解明に大きく前進すると判断した。以上の理由により、特別推進研究として推進することが適当と考えた。</p>